

業務改善の実施状況報告

組織名	三陸北部森林管理署久慈支署	連絡先	0194-53-3391
所管する業務の概要	国有林の管理・経営、治山事業の実施、民有林の造林指導等		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・ これまでの取組実績及び現在実施している取組	・ 今後の課題とその改善策
<p>(業務における心構え)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8月期出署日において、職員全員参加による接遇研修を実施。 来客や電話応対の際は「接遇マニュアル」に沿って実践する。 ・ 来客の際は、相手より先に此方から笑顔で挨拶。 ・ 電話は3コール以内に受話器を取る。 ・ 職員各自の担当する所掌事務を再確認のうえ、業務を遂行する。 ・ 「毎日見る掲示板」のチェック。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来客や電話応対については、「接遇マニュアル」に沿って実施しており、更に、点検等行いながら継続する。 ・ 担当者不在時の対応として、帰署時間等を上司や同僚に必ず告げるとともに、配車板にも行き先、帰署時間を記入し、職員が確認できる体制を取っている。 ・ 農水省のミッションステートメントや行動規範等を自主的・積極的に意識して行動するよう取組んでいる
<p>(農林水産業の振興と消費者利益の関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種請負事業において、計画的かつ早期に発注することにより地域の林業振興に寄与する。 ・ 間伐など森林整備を行なう際、施業を行なった箇所から下流域への土砂流出や水質汚濁等の被害が発生するリスクを常に認識し事業に当たる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 係間の連携を密にし、情報の共有を図りながら、地域の実情等の把握を行うなど、計画的かつタイムリーな発注に努めている。 ・ 事業を実行するに当たり、路網・土場の位置等に配慮するとともに、実施後の土場の整理、水切等について事業体等を指導するなど、国民目線を意識して実施している。
<p>(国民の意見、要請、苦情に対する姿勢)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国民からの各種意見等については、丁寧な対応と相手が理解できるよう解りやすい説明を心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元マツタケ利用組合からの不法採取防止対策要請に対して、利用組合・警察署等との合同会議を開催し違法行為の根絶に向け情報交換をした。

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・ これまでの取組実績及び現在実施している取組	・ 今後の課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林教室・職場体験・訪問などの要請については可能な限り応じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手方の実施目的を十分理解した上で、カリキュラムを検討している。
<p>(国民への情報提供姿勢)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国民からの問い合わせについては親切な対応を心掛け担当者不在の場合は相手方の連絡先を聞き、改めて担当者から連絡するようにしている。 ・ レク森など入り込み者が多い森林に設置した看板について、利用者の視点に立った見直しを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当者不在の場合でも対応できるよう、出署日等を通じて各種情報の共有を図っている。 ・ 点検の結果、8基の看板のリニューアルを行った。

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>(政策のニーズ等の把握に向けた取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の情報を適確に把握するため、県の出先機関、関係市町村などが出席する各種会議・行事には参加するよう心掛けている。 ・ 森林官は地域の情報等の把握を行い、上司への情報提供を行う必要のあるものについては速やかに報告する。 ・ 治山事業について関係者等への説明会を開催し、要望把握等に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種情報の内容を分析し、事業等の計画・実施に当たっての検討材料としている。 ・ 地域の情報等については、速やかに情報するよう促している。 ・ 工事の説明から、今後の政策課題へつなげるため検討を行う。
<p>(関係部署との連携強化のための取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週、各課長、関係係長も含めた事案の打合せを行い、円滑な進行管理に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題・課題の共有・整理、各係の連携を確認し、早期対応に努めている。
<p>(国民への政策等の説明方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 説明会での配布資料は分かりやすいものとなるよう努めている。 ・ 森林教室など森林環境教育の際、対象者が十分に理解できるような説明を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門用語等は極力使わず、わかりやすく伝える工夫をしている。
<p>(リスク管理の手順・ルール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予想される問題事案については、速やかに各担当係や上司と相談し、リスクの軽減、回避に努めている。 ・ 農水省関連の報道は必ず見るように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスクを発生させないためにも、情報を共有化し定期的に分析・検証を行うことを確認し、報告・連絡・相談の徹底を図っている。
<p>(過去の失敗や教訓の活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B S E 問題、事故米問題などからの教訓を再認識した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去の失敗等を気軽に話し合える職場環境づくりに取り組む。

3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
<p>(円滑な組織運営の実現に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チームワークが高まるように、普段からコミュニケーションを図り、明るい職場づくりを目指している。 ・ 職員間の応援や臨時雇用により業務の平準化に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お互い、明るく声をかけるよう心掛けている。 ・ 業務の平準化はもとより、効率化に取り組むことが重要であり、そのことにより、職員のモチベーションの向上を図る。
<p>(部署における独自の点検)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種請負事業にあたり、下流域への水質汚濁対策等の巡視を業務遂行の中で行っている。 ・ 森林吸収源対策として、施業の重要性を再認識して業務を進めている。 ・ 森林のもつ多様性・重要性について国民へ情報提供している。 ・ 労働安全の確保についての重要性を認識し、無災害の継続に努めている。 ・ 食品安全研修への参加をきっかけに、食の安全を支える環境づくりの重要性を再認識し、森林施業に努めている。 	

4. その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの取組実績及び現在実施している取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の課題とその改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	